

施策評価シート【重点施策】

個別施策Ⅱ－（２）

安心して子育てができる環境をつくる

基本的な方向性

安心して子育てができるようにするため、保護者の仕事と育児の両立を支援するとともに、経済的・精神的な負担の軽減を図ります。また、高まる保育ニーズに対応するため、施設整備と保育士確保の両面から保育環境の充実に向けた取組を進めます。

重要業績評価指標（KPI）の達成状況

指標名	単位	実績値				5年度 目標値	推計値 による 評価
		改訂計画 策定時	2年度	3年度	4年度		
保育園等の待機児童数	人	22	0	0	6	0	達成
放課後児童クラブの待機児童数	人	0	0	0	0	0	達成

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

- ・ 保育所等の整備や保育士確保のための支援を行うことで、令和3年、4年と2年連続で4月1日現在、待機児童はゼロを達成しました。また、一時預かりや病児・病後児保育など特別保育の実施、放課後児童クラブの増設を進め、受入児童数を拡充しました。
- ・ 中学校卒業までの医療費助成（所得制限なし）やブックスタート、不妊・不育治療費の助成、産後ケア事業や各種健診などを実施することで、妊娠、出産から子育て期までの切れ目のない支援体制を整えました。
- ・ 平塚・中郡地域で唯一、二次救急を扱える病院として、小児科の救急患者を受け入れました。

施策を推進する上での「主な課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（⇒）」

- ・ 待機児童解消や保育の質を向上するため、高まる保育需要への状況に応じた対応が必要となります。また、各地区の放課後児童クラブのニーズに基づいた整備が必要となります。
- ⇒民間保育所などの定員拡大を伴う施設整備や小規模修繕を支援するとともに、保育士確保や入所児童の保育環境の改善と地域間の均衡の保持を図るため、施設運営費などの助成を行います。また、放課後児童クラブの利用児童数の増加に対応するため、既存クラブの分割などを推進します。
- ・ 地域のつながりが希薄となる中で、孤立感や不安感を抱える妊婦・子育て世帯も多く、妊娠や出産、子育ての不安を解消するための切れ目のない支援が必要となります。
- ⇒妊娠・出産・子育てに関する不安や悩みの相談対応や、関係機関との連携により必要な支援につなげる相談体制の充実、育児に関する適正な情報提供、健診や各種教室、産後ケア事業等を実施します。さらに、妊娠・子育て家庭への伴走型相談支援と出産・子育て応援ギフトの給付の実施により、支援体制を拡充します。また、小児医療費助成を18歳まで拡大することで、子育て世帯の経済的負担の軽減を更に推進するとともに、健康増進を図るための啓発を行います。

・産科・小児科の二次救急は、採算性の確保が困難な部門であり、安定した病院経営を継続する必要があります。

⇒市民病院の病院経営安定のため、医師の確保に努めるとともに、市民病院の役割や機能を明確化・最適化し、休日・夜間診療所や地域の医療機関との連携を強化します。

関連する【取組】と（事業）

【一時的・臨時的な育児支援活動を行うファミリーサポートセンターの運営】（ファミリーサポート事業）

【保育所等の運営・施設整備への助成】（民間保育所施設整備支援事業）（民間保育所助成事業）

【民間保育所における保育士確保のための取組支援】（民間保育所保育士確保支援事業）

【幼児教育・保育の一体的な提供】（吉沢地区地域交流・子育て支援拠点づくり推進事業）

【利用ニーズ（実質利用児童数）に応じた放課後児童クラブの設置】（放課後児童健全育成事業）

【子どもの通院、入院時の医療費の助成】（小児医療費助成事業）

【小児救急医療の体制維持・継続実施】（産科・小児科二次救急実施事業）

【特別保育の拡充】（特別保育拡充事業）